

平成30年度 事業報告

新潟市社会福祉協議会 基本理念

見逃さず受けとめ、つなぎ、共に創る社協

西蒲区社会福祉協議会

平成30年度 西蒲区社会福祉協議会事業報告書

I. 概 要

西蒲区社会福祉協議会（以下「区社協」という。）では、地域のあらゆる方々が住み慣れた地域で安心して豊かに暮らせる「お互い様の地域づくり」を推進するため、あらゆる方が自ら進んで社会参加し、意欲と能力を発揮し、各地域で、地域の支えあい助けあいの仕組みづくりが取り組めるよう、人材育成や活躍できる場の構築を進めるためボランティアの育成に努めるとともに様々な事業を行いました。

さらに、コミュニティソーシャルワーク事業では、支援を必要とする住民（世帯）が抱える多様で複合的な課題や制度の狭間にある課題に対し、関係機関と連携し個別の課題に対して多様なアプローチと、専門職との連携強化に努めました。

II. 事業実施状況

〔基本目標1〕 支えあい、助けあい、育ちあう住民主体の地域づくり [12,290,842 円]

1. 地域共生社会の実現に向けた区社協を中心とした取り組み [7,194,201 円]

(1) 地域・地区社協活動交付金事業 [2,900,000 円]

区社協構成の基盤となる地域・地区社協の独自性を尊重し、各地域・地区社協活動の充実を図るため助成金の交付及び活動支援を行いました。

①地域・地区社協活動交付金

地区社協名	一般会費分	賛助会費分	活動交付金合計	寄付件数	指定寄付金額
岩室地域	315,000 円	210,000 円	525,000 円	0 件	0 円
巻地区	735,000 円	383,000 円	1,118,000 円	0 件	0 円
西川地区	452,000 円	92,000 円	544,000 円	7 件	210,535 円
潟東地区	160,000 円	110,000 円	270,000 円	0 件	0 円
中之口地区	177,000 円	266,000 円	443,000 円	1 件	91,263 円
その他	0 円	15,000 円	0 円	9 件	685,306 円
合 計	1,839,000 円	1,076,000 円	2,900,000 円	17 件	987,104 円

※一般会費は前年度一般納入会費の30%、賛助会費は全額を地域・地区社協へ交付しました。

※その他は、指定地区先が無い場合区社協財源としました。

②地区・地域社協活動支援

- 1) 地区・地域社協の理事会への出席
- 2) 地区・地域社協の各種事業への支援

(2) 歳末たすけあい事業 [3, 384, 698 円]

【実施目的・内容】

歳末たすけあい募金の配分事業として、歳末時期に民生委員や自治会等の協力のもと、支援を必要する方々が地域で安心して暮らすことができるよう、地域・地区社協等が行うおせち料理配食や地域住民の交流会等に助成しました。

地 区 名	歳末たすけあい事業内容	助 成 額
岩室地区	歳末見舞品配布事業・防犯防災事業ほか	535, 490 円
巻地区	歳末地域交流事業助成・給食サービス等	1, 434, 646 円
西川地区	歳末見舞品配布事業・地域歳末交流会ほか	764, 253 円
潟東地区	おせち料理配食サービス	249, 884 円
中之口地区	おせち料理配食サービス	287, 096 円
その他	歳末防災に関する事業	113, 329 円

※その他は、西川ひまわりクラブに助成しました。

(3) 地域福祉推進フォーラム [313, 269 円]

【実施目的・内容】

これまでの地域づくりを見返し、5年後、10年後の自分のため、家族のため、地域のため、自分たちに何ができるのか、地域ぐるみで協力して支える地域を作るためにはどうしたらいいのか、これからの参加型地域社会の在り方を一緒に考えるためフォーラムを開催しました。

開催日／会場／参加者	内 容
◎日時 平成31年2月16日（土） ◎会場 西川多目的ホール ◎参加者 一般住民、民生児童委員、西蒲区在宅医療ネットワーク参加者、福祉団体、地域住民組織福祉部会及びボランティア等 176人	第1部 社会福祉功労者感謝状贈呈式 第2部 基調講演 一般社団法人 Medical Studio 代表理事 坂本 文武 氏 「地域共生社会の実現にむけて」 第3部 シンポジウム 「地域共生型の地域づくりを考える」 シンポジスト 地域包括支援センター中之口・潟東 吉澤興樹 氏 支えあいのしくみづくり推進員 谷原寛子 氏 ボランティア団体 marugo-to 岩崎典子 氏 コーディネーター 一般社団法人 Medical Studio 坂本文武 氏

(4) 地域共生型あぐり事業 [596, 234 円] 【新規事業】

【実施目的・内容】

地域福祉推進事業の取り組みの中で表面化した地域課題に対し、地域住民・地元企業や専門職等による異業種参加型ワーキンググループを立ち上げ、農作業を取り入れた多機能型拠点を整備し、シニアの生きがいの場や認知症の方の通いの場・引きこもりの方の就労準備前

の訓練の場として、社会的課題解決に向けた新たな取組を行いました。

○ワーキンググループの立ち上げに向けた検討会（13回）

○ビニールハウスを活用した生産性の高い居場所・通いの場の開設（6月4日オープン）

○男性シニア応援事業受講者を中心とした運営（運営団体「marugo-to」の設立）

○農作業を取り入れた就労支援を考える研修会の実施

（認知症、障がいを抱える方への支援方法を学ぶ研修を2回開催）

2. 支えあい・助けあい（お互い様）の地域づくりの推進 [1,662,480 円]

(1) 地域ふれあい助成事業 [1,601,000 円]

【実施目的・内容】

住民同士の助けあい・支えあいの輪が広がるよう、地域・地区社協が地域住民を対象に行う地域交流事業や見守り活動事業に助成しました。

事業名	助成額
子育て支援事業助成金	240,000 円
ボランティアサロン交流事業助成金	321,000 円
地域交流事業助成金	475,000 円
配食サービス事業助成金	278,000 円
友愛訪問事業助成金	287,000 円

(2) 地域福祉活動計画推進事業 [61,480 円]

【実施目的・内容】

地域包括ケアシステムの構築と地域福祉活動計画の推進を一体的に進めるため、行政・包括・SC・社協が一体となって地区懇談会を開催し、これまでの取り組みを振り返り、地域福祉活動計画の目標に向かってどのように計画的にアプローチできるか話し合いました。

＜地区懇談会の開催状況＞

開催日	開催地区	会場	参加者数
平成30年7月18日（水）	—	第1回西蒲区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会／西蒲区役所	26人
平成31年3月19日（火）	—	第2回西蒲区地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会／西蒲区役所	25人
平成30年10月30日（火）	西川	西川健康センター	25人
平成30年11月1日（木）	潟東	潟東農村環境改善センター	40人
平成30年11月29日（木）	峰岡	峰岡公民館	25人
平成30年12月13日（木）	西川	西川学習館	25人
平成31年1月20日（日）	松野尾	松野尾地区コミュニティセンター	30人
平成31年2月22日（金）	角田	角田地区コミュニティセンター	25人
平成31年3月15日（金）	中之口	中之口地区コミュニティセンター	27人

3. 住民主体による見守り・地域交流活動の促進 [2, 898, 827 円]

(1) 緊急情報キット配布事業 [0 円]

【実施目的・内容】

自治会、コミ協に見守り活動に取り組むきっかけとして、緊急情報キットの活用を検討していただくよう、複数の自治会に説明会を実施いたしました。結果、緊急情報キットではなく「見守りシート」を活用することとなりました。

また、情報更新の願いを対象世帯向けに配布いたしました。

区 分	H30	H29	H28	延べ配布数 (H21～)
安心袋	—	—	12 個	2, 176 個
キット	0 本	0 本	1, 841 本	3, 747 本

※安心袋配布事業は、平成28年度をもって廃止

(2) 地域福祉プロデュース事業 [1, 361, 197 円]

【事業目的・内容】

自治会の見守り活動や福祉活動に対して助成はありませんでしたが、自治会単位での見守り活動の方法やワークショップの開催等、その地域性にあった福祉活動が展開できるように相談支援を行いました。

年 度	H30	H29	H28
支援自治会数	0 自治会	1 自治会	2 自治会

(3) 子育て支援事業 [60, 000 円]

【事業目的・内容】

地域の中で子育ての悩みなどを共有できるコミュニティの場作りのため、子育てサロンへの助成支援を行いました。

また、既存の団体が運営の悩みや課題等を話し合える交流会を行いました。

①活動助成金

年 度	H30	H29	H28
助成サロン数	2 団体	2 団体	1 団体

②子育てサロン交流会

開催日／会場／参加者	内 容
◎開催日：平成31年3月6日（水） ◎会 場：トレジャーボックス ◎参加者： 親子4組	・トレジャーボックス様の活動内容説明、会場見学 ・助成金の説明 ・交流会

(4) サロン支援事業（地域活動交流支援事業） [1, 477, 630 円]

【事業目的・内容】

助けあい支えあう地域づくりを進めるために、地域の皆さんが集まりやすい場所を利用して、子供から高齢者、障がいのある人等誰もが気軽に交流出来る活動を支援しました。

①ふれあいいきいきサロン（地域の茶の間）に対する助成支援

サロンタイプ	件 数		助 成 額	
	H30	H29	H30	H29
月1回 開催サロン	48 件	44 件	1,402,500 円	1,288,224 円
月2回 開催サロン	1 件	1 件	60,000 円	60,000 円
旧Bタイプサロン	—	5 件	—	600,000 円

※サロン助成を活用しないサロンが13件あり、当会で把握しているサロン団体数は62団体です。

②ふれあいいきいきサロンに対する立上げ支援

サロン立上げ支援数	H30	H29
	4 件	8 件

③ふれあいいきいきサロン主催者に対する研修会

開催日／会場／参加者	内 容
◎開催日：平成31年2月6日（水） ◎会 場：巻ふれあい福祉センター ◎参加者： 37 名	・サロン助成報告・申請について ・ボランティア保険について ・ヤクルト健康教室 ・交流会

4. 地域福祉活動への参加促進（福祉教育の促進）[37,400 円]

(1) 福祉教育推進事業 [37,400 円] 【拡充事業】

【事業目的・内容】

学校を始め地域住民に対して福祉教育を行うことによって、福祉のところに満ちあふれた心豊かな生活を営めるやさしい社会にする担い手育成を目的に、小中学校への総合学習や地域への出前講座を行いました。

対 象	内 容	回	参加者数 (延べ)
松野尾小学校	災害イメージゲーム「クロスロード」	1	15 人
漆山小学校	福祉講話	1	33 人
漆山小学校	アイマスク・ブラインドウォーク体験	1	33 人
巻南小学校	アイマスク・ブラインドウォーク体験	2	68 人
巻東中学校	認知症サポーター養成講座	1	116 人
巻東中学校	施設訪問・利用者との交流	1	26 人
和納小学校	視覚障がい者による講話・歩行誘導体験	2	42 人
岩室小学校	視覚障がい者による講話・歩行誘導体験	2	24 人
曾根小学校	福祉講話、車いす体験・高齢者疑似体験	2	55 人

対 象	内 容	回	参加者数 (延べ)
曾根小学校	盲導犬ユーザーによる講話 日常生活用具の紹介と体験	1	55 人
中之口東小学校	キャリア教育講話・高齢者疑似体験	1	25 人
和納小学校	認知症サポーター養成講座	1	42 人
巻西中学校	認知症についての講話	1	219 人
曾根小学校	ブラインドサッカー体験	1	55 人
岩室ひまわり クラブ	災害イメージゲーム「なまずの学校」 非常食試食体験	1	32 人
下組サロン	認知症予防体操	1	10 人
きらくな会	地域デビューそば打ち講座	1	15 人
漆山コミ協	認知症サポーター養成講座	1	8 人

＜参考：平成 29 年度＞

対 象	内 容	回	参加者数 (延べ)
松野尾小学校	福祉についての講話・高齢者疑似体験	1	27 人
巻東中学校	認知症サポーター養成講座	1	110 人
岩室小学校	高齢者疑似体験・車いす、介護用具体験	2	52 人
岩室小学校	認知症サポーター養成講座	1	26 人
漆山小学校	高齢者疑似体験	1	35 人
曾根小学校	車いす体験・高齢者疑似体験	2	74 人
和納小学校	視覚障がい者による講話・歩行誘導体験	1	33 人
曾根小学校	盲導犬ユーザーによる講話 日常生活用具の紹介と体験	1	41 人

5. ボランティア・市民活動の促進 [398,743 円]

(1) ボランティアセンター運営事業 [211,098 円]

【事業目的・内容】

ボランティア活動に関する相談や情報提供を行うことを目的に、ボランティア・市民活動センターを設置し、身近な窓口として積極的に活動を展開しました。

①ボランティアグループ数、人数

区分	高齢者福祉 関係	障がい者福 祉関係	児童福祉関 係	病院・施設 関係	視覚障がい 者支援	聴覚障がい 者支援	地域活動 その他	災害関係	計
団体数	14団体		4団体		4団体	2団体	43団体		67団体
所属人数	663 人		25 人		35 人	36 人	974 人		1,733 人
個人人数	3 人	2 人	3 人	1 人			9 人	1 人	19 人

＜参考：平成 29 年度＞

区分	高齢者福祉 関係	障がい者福 祉関係	児童福祉関 係	病院・施設 関係	視覚障がい 者支援	聴覚障がい 者支援	地域活動 その他	災害関係	計
団体数	17団体	1団体	6団体		3団体	2団体	28団体	4団体	61団体
所属人数	722 人	9 人	50 人		33 人	36 人	850 人	64 人	1,762 人
個人人数	6 人		1 人		1 人			1 人	9 人

②ボランティア保険加入

活動保険加入者数	行事用保険加入件数
778 人	454 件

③相談件数

年度	ボランティアし たい (A)	ボランティア欲し い (B)	情報欲しい (C)	情報提供したい (D)	計
H30	23 件	31 件	59 件	8 件	121 件
H29	16 件	20 件	38 件	9 件	83 件

④「ボラたん」情報誌の発行

広報紙名・発行号	発行月	主な内容
第 3 号 ボラたん	平成 30 年 8 月	・男性シニアボランティアの紹介 ・男性シニア応援講座案内 ・傾聴講座案内 ・ボランティア募集情報 他
第 4 号 ボラたん	平成 31 年 3 月	・ボランティア団体の活動紹介 ・災害ボランティアセンター設置訓 練の報告 ・ボランティア募集情報 他

(2) ボランティア・市民活動育成事業 [64,204 円]

【事業目的・内容】

西蒲区内のボランティア活動の裾野が広がるよう、活動のきっかけとなる講座等を開催しました。

事業名	回数	参加者数 (延べ)
ボランティア受入施設担当者研修	1	11 人(西蒲区)
傾聴ボランティア講座 (本講座)	2	15 人
〃 (フォローアップ研修)	2	12 人

(3) 男性シニア地域活動応援事業 [123,441 円] 【拡充事業】

【事業目的・内容】

男性の地域活動への参加の向上及び地域課題解決に向けた地域の担い手育成を目指し、退職した男性シニア対象とし、社会参加に興味を持ってもらうための講座を開催しました。

事業名	回数	参加者数(延べ)
男性シニア応援講座 (本講座:そば打ち・ピザ窯づくり・包丁研ぎ・料理教室)	4	36 人
〃 (フォローアップ研修)	1	9 人

6. 災害に強いまちづくり(災害時に備えた体制の充実) [99,191 円]

(1) 災害ボランティアセンター運営事業 [99,191 円]

【事業目的・内容】

災害ボランティアセンター設置運営マニュアルをもとに、住民の方からも参加いただき初動時の災害ボランティアセンター設置訓練を行いました。

開催日	内 容	参加者数
平成 30 年 12 月 1 日 (日)	災害ボランティアセンター設置訓練	41 人

(2) 被災地支援

【事業目的・内容】

平成 30 年 7 月豪雨災害支援のため被災地へ職員を派遣いたしました。

派遣先	派遣期日	派遣者数
広島県 尾道市	平成 30 年 8 月 24 日(金)～8 月 29 日(水)	1 人
広島県 坂町	平成 30 年 8 月 31 日(金)～9 月 6 日(木)	1 人

〔基本目標 2〕 地域のあらゆる生活課題の解決に向けた新たな社会資源の創造と支援システムの構築・実現 [410, 422 円]

1. 制度の狭間の課題を解決する取り組み [64, 922 円]

(1) コミュニティソーシャルワーク推進事業 [64, 922 円] 【拡充事業】

【事業目的・内容】

既存の制度では解決困難な複雑・多様化した福祉課題について、伴走型の個別支援に取り組み、様々な関係機関と連携・協働することで解決に向け取り組みました。

<個別支援事例>

区 分	内 容
事例概要①	世帯構成員全員（両親・子）がそれぞれ障がいを抱え、子の精神状態の悪化により世帯全体が混乱状態のケースへの支援
CSW による支援内容	子から心配ごと相談があり、その後 CSW へつながる。高齢の両親と 40 代独身の娘の三人世帯。両親は認知症の悪化、子は精神状態の悪化により世帯全体が混乱状態。 すでに関わっている専門職、新たに関わりが必要な専門職をつなぐことで世帯丸ごとの支援を行う。 両親は入院を経て施設入所へ。子は必要な支援サービスを増やすことで一人暮らしの生活をスタートする。
成果	○世帯構成員それぞれの支援、世帯全体の支援の整理
今後の課題	○娘：自立した生活の確保。 ○世帯：新たなキーパーソンの発掘（娘がキーパーソンであり続けることは負担が大きく困難と予想されるため）

事例概要②	長年続けてきた仕事を人間関係のトラブルから退職し、その後無職状態が続き、今後生活が困窮するリスクがあるケースへの支援
CSW による支援内容	地域包括支援センターより、「50 代女性で無職。今後生活が困窮する恐れがあり、本人は就労を希望している」と相談があり、支援開始。 本人は知的障害・発達障害が疑われ、新たに一般就労を目指すことは難しいと判断。高齢の母親に対し状況を説明し、障害者手帳の申請・生活保護の申請を行い安定した生活の確保を目指す。
成果	○療育手帳を取得し、障害福祉サービスを利用することで自立した生活を目指すことができるようになった。 ○生活保護の受給が決定し、経済面で安定した生活が確保できた。
今後の課題	○安定した生活、自立した生活の確保・継続。

<定例会・会議等への参加状況>

○個別支援会議の開催

○定例会の開催・参加

CSW 定例会（市・区）個別支援や地域支援の課題について随時検討会を行いました。

○包括的支援体制構築に向けた検討会・ケースカンファレンスの開催（随時）

○研修会の参加

地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業研修会への参加
 地域共生社会の実現に向けた相談支援包括化推進員連絡会への参加
 地域福祉コーディネーターリーダー研修への参加
 平成30年度ひきこもり支援従事者研修会への参加

○地域包括ケアシステムに関する会議への参加

西蒲区在宅医療ネットワーク幹事会・定例会への参加
 各地域包括支援センターケア会議への参加
 各圏域支えあいのしくみづくり会議への参加

○西蒲区自立支援協議会会議・ケース会議・部会活動への参加

○地域福祉計画・地域福祉活動計画座談会への参加

○その他の取り組み

西蒲区地域福祉推進フォーラムの開催
 CSWについての研修会の実施（ケア会議、西蒲区リハビリ職連絡会）
 にしかんみんなのみらい会議の開催

2. 生活困窮者支援への取り組み [24,500 円]

(1) 高校進学のための相談事業 [1,500 円] 【新規事業】

【事業目的・内容】

高校進学（義務教育からの卒業）する子ども（世帯）が経済的理由で進学を諦めることがないように、区内の中学校にチラシを配布し制度の説明や貸付相談を行いました。

(2) 生活福祉資金貸付事業 [23,000 円]

【事業目的・内容】

法制化された生活困窮者自立支援法のもと、関係機関との連携により、低所得者、高齢者、障がい者等の世帯に対してその自立と生活の安定のため、生活の立て直しを支援しました。

＜相談件数・貸付実績＞

資金種類		件 数	
		相 談	決 定
生活福祉資金	総合支援資金	12 件	0 件
	福祉資金	29 件	0 件
	教育支援資金	27 件	0 件
	不動産担保型生活資金	9 件	0 件
H30 合計		77 件	0 件
H29 合計		27 件	3 件
H28 合計		49 件	1 件

(3) 行旅人旅費貸付事業 [0 円]

【事業目的・内容】

法外援護事業として、旅行中に紛失、盗難等により金銭を携行できない行旅人に対して目的地までの交通費の一部となるよう貸付を計画いたしましたが、貸付はありませんでした。

<貸付実績>

年 度	件 数
H30	0 件
H29	1 件
H28	1 件

3. 総合相談機能の充実 [321,000 円]

(1) 心配ごと相談事業 [321,000 円]

【事業目的・内容】

市民の日常生活上の心配ごと、困りごとなどの相談に適切な助言を行うため、民生児童委員等の協力を得て相談業務に当たりました。

また、適切な対応と相談機関としての充実を目指して、相談員の研修を年2回行い、相談所としての相談対応の向上を図りました。

<相談件数>

区 分	件 数
家 族	6 件
精神衛生	0 件
財 産	5 件
苦 情	3 件
健康・衛生	0 件
その他	47 件
H30 合計	61 件
H29 合計	64 件
H28 合計	48 件

1. 安定した事業運営の強化 [1, 857, 071 円]

(1) 区社協運営事業 [1, 622, 236 円]

【事業目的・内容】

地域住民に信頼された組織を目指すため、区社協が行う事業に対し、地域の多様な意見が反映できるよう、役員会や各種会議を行いました。

また、区社協の安定した事業運営ができるよう、財務の透明性の向上に取り組み、会員会費の増強、赤い羽根共同募金への協力に努めました。

①各種会議開催状況

会 議 名	開催日・場所	主 な 議 題
監査会	平成 30 年 5 月 18 日 (金)	・平成 29 年度事業報告(案)について ・平成 29 年度決算書 (案) について
第 1 回役員会	平成 30 年 5 月 25 日 (金)	・役員の一部選任について ・平成 29 年度事業報告(案)について ・平成 29 年度決算書(案)について ・区社協運営検討委員会設置要綱の制定について
地区・地域社協会長、事務局会議	平成 30 年 11 月 9 日 (水)	・賛助会費の募集について ・次年度予算編成について
第 2 回役員会	平成 31 年 3 月 8 日 (木)	・平成 31 年度事業計画(案)について ・平成 31 年度予算書(案)について ・区ボラセン運営委員会設置要綱の制定について ・役員改選に係る日程について

②運営検討委員会

会 議 名	開催日・場所	主 な 議 題
第 1 回運営検討委員会	平成 30 年 11 月 9 日 (金)	・委員長、副委員長の選任について ・区社協の財務状況について ・次回の審議議案について
第 2 回運営検討委員会	平成 30 年 12 月 7 日 (金)	・区社協事業の見直しについて ・次回の審議議案について
第 3 回運営検討委員会	平成 31 年 1 月 30 日 (水)	・地区社協事業の見直しについて ・区社協予算、基金について ・次回の審議議案について
第 4 回運営検討委員会	平成 31 年 3 月 1 日 (金)	・地区社協事業、交付金見直しについて ・次回の審議議案について

③社協会費・賛助会費の募集状況

<一般会員会費納入状況>

平成 30 年度納入額	納入自治会数	平成 29 年度納入額
6, 100, 076 円	216 自治会	6, 137, 096 円

<賛助会員会費納入状況>

平成 30 年度納入額	納入状況	平成 29 年度納入額
1, 114, 000 円	207 件・231 口	1, 076, 000 円

(2) 広報事業 [234, 835 円]

【実施目的・内容】

区社協の事業を広報とホームページで公開することによってより広く周知し、福祉の啓発を行いました。

また、助成金の案内の更新を随時行い、賛助会費にご協力をいただいた企業の方々を公開しました。

広報紙名・発行号	発行月	主な内容
第 34 号 にしかんく社協だより	平成 30 年 8 月	・平成 29 年度事業決算報告 ・平成 30 年度事業計画 ・地域共生型めぐり事業紹介 ・会費納入のお願い
第 35 号 にしかんく社協だより	平成 30 年 3 月	・平成 31 年度社協の方針 ・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金実績報告 ・賛助会費一覧

※ホームページ掲載・更新件数は 109 件です。

2. 計画的な人材育成と職場環境改善 [388, 611 円]

(1) 役職員研修事業 [388, 611 円]

役員の方々から地域福祉の現状と社協を取り巻く状況をよく理解してもらい、西蒲区全体の福祉のあり方について意識の醸成と見識を深めてもらうため、各種研修会に参加していただきました。

また、職員の人材育成を強化するため、各種研修会に参加いたしました。

<役員参加状況>

大会名	開催日／場所	参加者数
社協活動ブロック会議	平成 30 年 7 月 9 日（月）／東京都	2 人
第 68 回 県民福祉大会	平成 30 年 10 月 30 日（火）～31 日（水）／村上市	13 人
会員の集い・介護フェスタ	平成 30 年 11 月 18 日（日）／朱鷺メッセ	16 人
福祉ビジョン 21 世紀セミナー	平成 30 年 11 月 29 日（木）～30 日（金）／東京都	2 人

＜職員参加状況＞

研 修 会 名	開催日・場所	主な研修内容
地域福祉コーディネーターリーダー研修会	平成 30 年 9 月 19 日(水)～20 日(木)／東京都	・地域共生社会の実現を目指し、包括的支援体制を構築するためのワーカー向けスキルアップ研修
地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業・相談支援包括化推進員連絡会	平成 31 年 1 月 23 日(水)／長野県	・モデル事業受託自治体間の意見交換
災害支援コーディネーター養成研修	平成 31 年 1 月 30 日(水)～31 日(木)／柏崎市	・被災地支援の意義や役割を理解するための基礎研修
全国ボランティアコーディネーター研修会	平成 31 年 3 月 2 日(土)～3 日(日)／京都府	・ボランティアコーディネーターのスキルアップのための研修会

〔その他〕 受託事業・指定管理事業 [18, 484, 862 円]

1. 受託事業 [3, 547, 600 円]

(1) 配食サービス事業 [1, 652, 700 円]

【実施目的・内容】

新潟市からの委託により、65 歳以上の一人暮らし・または高齢者のみの世帯で希望する方に、安否の確認やふれあい交流のため、給食ボランティアによる手作り弁当を月に 4 回昼食（西川地区）、毎週 1 回夕食（潟東地区）を民生委員等の協力を得て利用者宅に届けました。利用者負担金は 1 食 300 円。

＜利用実績＞

地区名	実施日数	実利用者数	延べ配食数	ボランティア数	
				調理	配達
西川地区	43 日	39 人	1, 424 食	20 人	6 人
潟東地区	50 日	19 人	937 食	12 人	13 人

＜参考：平成 29 年度＞

地区名	実施日数	実利用者数	延べ配食数	ボランティア数	
				調理	配達
西川地区	40 日	36 人	1, 540 食	20 人	6 人
潟東地区	49 日	25 人	924 食	12 人	13 人

(2) 生きがい対応型通所事業 [1,894,900 円]

【事業目的・内容】

家に閉じこもりがちな高齢者、要支援・要介護状態になるおそれのある高齢者に対し、介護予防・社会的孤立感の解消及び自立生活を確保する目的で開催いたしました。

<利用実績>

会 場	開設曜日	開設日数	延べ利用者数
新潟市潟東ゆう学館	火・水・金 (4月～9月) 火・金 (10月～)	126 日	659 人

※10月から行政と協議の上、週3日から週2日に変更いたしました。

<参考：平成29年度>

会 場	開設曜日	開設日数	延べ利用者数
西川高齢者ふれあいセンター	月曜～金曜	244 日	2,225 人
新潟市潟東ゆう学館	火・水・金	146 日	732 人

2. 指定管理者制度 [14,937,262 円]

(1) 巻ふれあい福祉センターの管理運営 [14,937,262 円]

市民の心身の健康を保持し、福祉の増進を図るとともに、福祉関係団体及びボランティアの地域福祉活動を支援しました。

<利用実績>

センター名	開催日数	延べ利用者数
巻ふれあい福祉センター	359 日	33,320 人

<参考：平成29年度>

センター名	開催日数	延べ利用者数
西川社会福祉センター	244 日	2398 人
巻ふれあい福祉センター	359 日	33,264 人

〔その他〕関係機関との連携・参画、その他事業

(1) 日常生活自立支援センター連携

【実施目的・内容】

判断能力の不十分な方が、生活に必要な福祉サービスを利用しながら地域で安心して暮らすことが出来るように、福祉サービスの利用援助を行う日常生活自立支援事業を新潟市日常生活自立支援センター（あんしんサポート新潟）との連携を密に行いました。

＜西蒲区の取扱い状況＞

平成 30 年度契約件数	総契約件数	生活支援員数
3 件	15 件	15 名

＜参考：平成 29 年度＞

平成 29 年度契約件数	総契約件数	生活支援員数
6 件	17 件	14 名

(2) 西蒲区民生委員児童委員会長連絡会への参加

【実施目的・内容】

民生委員児童委員会長連絡会に参加し、行政、民生委員児童委員及び社協との連絡調整を行い、連携強化に努めました。

○西蒲区民生委員児童委員会長連絡会	10 回
○地区民生委員児童委員定例会 各地区	12 回
○新潟市民生委員児童委員大会	1 回

(3) おもいやりのひとかき運動

【実施目的・内容】

バス停や横断歩道付近の適当な場所に除雪用スコップを設置し、バスや信号待ちの人たちから除雪に協力してもらうことで、地域で思いやりと助けあいの心を育む活動の一環として実施しました。

＜西蒲区の取扱い状況＞

設 置 地 区 名	設 置 数	
	H30	H29
岩 室 地 区	4 件	3 件
巻 地 区	11 件	11 件
西 川 地 区	3 件	3 件
潟 東 地 区	3 件	3 件
中之口地区	4 件	4 件

(4) 共生フォーラムへの参画

【実施目的・内容】

障がいのある方もない方も、どんな年齢の方でも、助けあい、支えあう共生のまちづくりを目指して、共生フォーラム実行委員会に参画しました。

開催日／会場／参加者	内 容
・平成30年10月20日（土） ・巻地域保健福祉センター ・一般住民、障がい当事者、支援事業所 220名	障がい者が主体となり行うフォーラム：2018年テーマ「共生フォーラム in 西蒲ファイナル～我が地域の福祉は我らが手で」

(5) 岩室あなぐま芸術祭への参画

【実施目的・内容】

障がいのある方等が作成したアートを温泉街に展示し、作者の生命を感じ多様性の享受や思いやりを育むことを目指して、実行委員会に参画しました。

開催日／会場／参加者	内 容
・平成30年9月1日（土）～9日（日） ・岩室観光施設いわむろや、岩室温泉街	岩室温泉街、お寺等に障がいのある方等が作成したアートを展示

(6) 福祉バス運行事業

【実施目的・内容】

公共交通網が利用しにくい西蒲区において、福祉3団体及び西蒲区ボランティア・市民活動センターに登録されている団体の組織的な福祉活動を支援する目的で運営しました。

主な利用目的	対象者	運行回数	延べ利用者数
視察・研修	福祉3団体及び・ボランティア団体	30回	617人

<参考：平成29年度>

主な利用目的	対象者	運行回数	延べ利用者数
視察・研修	福祉3団体及び・ボランティア団体	26回	538人

(7) 地域貢献事業

【実施目的・内容】

地域で行われる行事に、西蒲区社会福祉協議会として参加しました。

開 催 日	内 容	参加者数
平成30年6月15日（金）	巻まつり民謡流しへの参加	27人
平成30年8月18日（土）	駅南振興祭への参加	5人
平成30年8月24日（金）	西川まつり民謡流しへの参加	20人